

第2回幹事会の報告

令和8年8月18日

第2回 菊川水系黒沢川流域水害対策協議会幹事会 開催報告



- 菊川水系黒沢川流域水害対策計画の策定に向けて第2回幹事会を開催しました。
- 菊川水系黒沢川流域水害対策計画(素案)について議論を行いました。

■幹事会概要

- 日 時：令和8年7月16日(木) 13時15分より
- 会 場：菊川市役所 本庁4F協議会室
- 次 第：菊川水系黒沢川流域水害対策計画(素案)について
今後のスケジュールについて



開催状況

■幹事からの主な意見

■浜松河川国道事務所 千野所長

- 黒沢川流域では浸水被害が頻発しており、特に内水氾濫対策が重要である。
- 計画素案では、河川整備に加え、田んぼダム・ため池・貯留機能保全区域等を組み合わせて被害軽減を図る方針としている。

■菊川市建設経済部 星野部長

- 菊川市は校庭貯留や棚草川貯留施設の整備を進めており、今後も対策を継続する。
- 貯留機能保全区域は、地権者同意を前提に候補地を検討するが、土地利用規制への配慮が必要である。

■静岡県河川海岸整備課 津島課長

- 浸水実績や対策効果について、過去の実績降雨も含めた分かりやすい検証をお願いしたい。

■住民代表者 森下氏

- これまで実施した河道掘削により、浸水被害はかなり減ってきている。また、岳洋中学校の校庭貯留施設ができたことによって、棚草川から南側の田んぼでは水が溜まっていなかったが、一方で、北側の田んぼでは溜まっており、変化を感じた。

■住民代表者 鈴木氏

- 河道掘削時期については、国と県で調整頂きたい。また、除草や遊水地の堆積土砂に関する管理をお願いしたい。

■静岡県土木防災課 早川課長

- ハザードマップやマイタイムラインの推進等の取り組みについて、連携していく。

■静岡県農地計画課 細野課長

- 田んぼダムやため池活用は、黒沢川周辺に限らず牛淵川・丹野川を含めた広域的な取組が有効と考える。